

＜学校教育目標＞

美しい心をもち

よく考え

進んで実行する

元気な子ども

松風

学校だより 第8号



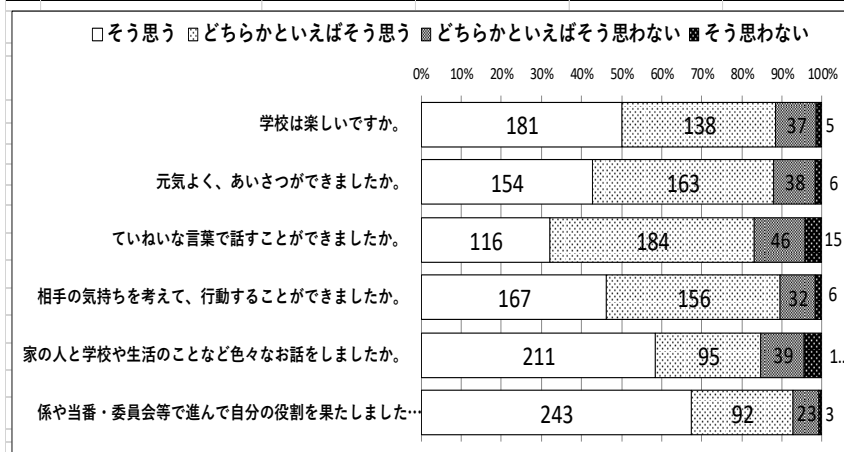
花巻市立矢沢小学校

令和8年1月23日

2学期児童アンケート

【児童】アンケート集計結果

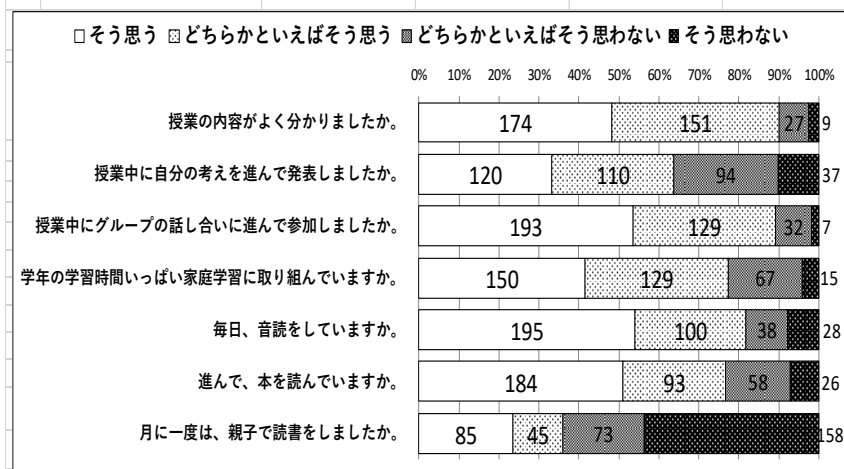
自ら高める子「豊かな心」にかかわって



2学期の児童アンケートの結果を記載します。以下、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的結果として見ていきます。

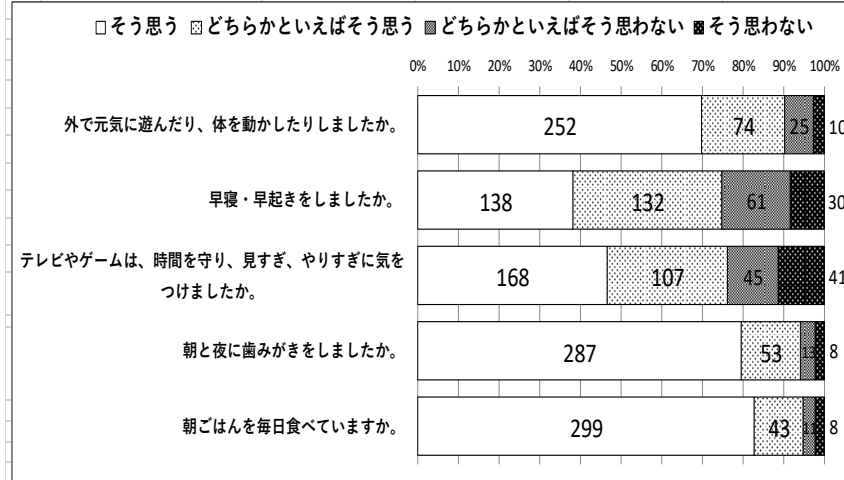
「豊かな心」の項目については、肯定的結果が、概ね 80% 以上と高い結果となりました。90%以上の項目が多い中、課題としてみられるのが、「ていねいな言葉」「家の人と学校や生活のお話」でした。

自ら学ぶ子「確かな学力」にかかわって



「確かな学力」の項目については、課題となる項目が多く、「自分の考えを進んで発表」「時間いっぱい家庭学習」「毎日の音読」「進んで読書」「親子読書」でした。次号の校報に掲載しますが、保護者のコメントにも、この項目についてのことがあげられています。現状を見据えて、来年度の取り組みに繋げていきたいと考えています。

自らきたえる子「健やかな体」にかかわって



「健やかな体」の項目については「早寝早起き」「TV やゲームの時間」の肯定的結果が低く現れており、メディアと睡眠時間の関係があることが分かります。子どもたち自身も、メディアの時間が多いこと、早寝早起きができていないことを分かっているようです。

次号では、保護者の「家庭での取り組み」「学校の取り組み」のアンケート結果を紹介します。

令和8年1月20日、3学期が始まりました。朝は少し吹雪いている状況で、とても寒い中でしたが、みんな元気に登校してきました。学級で朝の会を行ったあと、体育館で3学期始業式を行いました。その時に校長から子どもたちにお話をしたことを紹介します。

あらためまして、みなさん あけましておめでとうございます。

校長先生から2学期の終わりに2つ宿題を出しました。

一つ目は新年のあいさつを家族にすることでした。

二つ目は今年頑張りたいことを考えることでした。

まだできていない人はこれからでもいいので、しっかりとやってください。

さて、今日から3学期が始まります。とても短い学期ですが、とても大事な学期となります。今年度の反省をしっかりとおこない、来年度の準備をする学期です。勉強や生活、運動や友達関係など、今までのことを振り返って、来年度の目標、どんな自分になりたいか考えてみましょう。そして、自分だけでなく、どんな学級にしたいか、どんな学年にしたいか、どんな学校にしたいか、考えてみましょう。

校長先生から、3学期はこんな学校にしたいということをお話しします。それは、「きれいな学校」です。矢沢小学校ができてから、50年経っています。だいぶ汚れていたり、傷んでいたりするところがたくさんあります。義務教育学校開校のため、この校舎で過ごす時間も限られています。残りの期間、大切に、きれいに使って欲しいと考えています。

建物だけでなく、体も心もきれいにしたいと思っています。体をきれいにというのは、怪我をしないさせないということです。心をきれいということは、みんなが楽しい、誰にでも優しく、そして何にでも挑戦してがんばったと言えるような人になって欲しいということです。

みんなで、体も心も学校もきれいにしていきましょう。

最後に6年生へ。小学校生活があと2ヶ月位しかありません。中学校への期待や不安もあると思いますが、しっかりと3学期で小学校6年間の振り返りをしてください。いい思い出や大変だった思い出、色々あったと思いますが、それが全て土台となって、これからの中学校生活につながっていきます。そして1年生から5年生に立派な、カッコいい姿を見せて欲しいと思います。期待しています。

始業式では、5年生、6年生が静かに体育館に入場し、先生方からの少ない指示で自分たちで整列し、とても立派な態度で臨んでいました。下級生の手本となり、とても素晴らしかったです。

情報モラル教育について

全国的に、いじめの動画の拡散やそれに伴った情報や誤情報の拡散が問題となっています。高校生の問題から始まり、中学生の問題、そして中学生と小学生の問題と広がっています。小学生も可能性は無いとはいえない状況です。学校では、タブレットの使い方、そして高学年にはスマホ等の利用に関しての情報モラル教育を行っています。ゲーム内でのトラブル、盗撮、今回の画像動画拡散など、大人の考えを超えるような事が起きています。

今回の事件に関しては、いじめの問題と、動画拡散による問題と分けて考え、対応する必要があります。いじめの問題は学校で対応できるのですが、動画拡散やその後の加害者への被害等については専門機関などに頼るしかありません。

そうなる前に、未然に防げることが一番と考えます。そのためには、子どもたちの何気ない変化を見逃さないことや、家庭との連携など、学校・家庭・地域が手を取り合っていかなければなりません。

今回の事件に関しても、人ごととは思わず、しっかりと考えていきたいと思っています。

ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただき、普段の会話を大切に、子どもたちには、何かあったら家族や先生が守ってくれるよと、安心する声がけをお願いします。